

手引デジタル版

現在、新装丁の手引はすべて Amazon にてデジタル版で出版しています。使い勝手はそれぞれ長短ありますが、皆様の必要に応じてご活用ください。

「救いの基礎」使ってみたら・・・

「救いの基礎」を使って聖書を学び、信仰に入られた方がおられます。昨年秋から手引を使って学ばれていた女性が、今年、3月にイエス様をご自分の救い主と告白されました。その後、ご友人ともう一度「救いの基礎」を一緒に学び、この秋、お二人そろって洗礼を受けたということです。

うれしいニュースに事務局が沸きました！

皆様のグループ聖研の様子もお知らせください。

会計係から

いつも、聖書を読む会の働きのためにご支援ありがとうございます。今年度は宗教改革 500 年を記念して特別の出版指定献金をお願いしています。これまで 473,500 円（達成率 39% 11 月 6 日現在）を、お寄せいただきました。お陰様で、8 月には「マルコ」の改訂版を出版し、「使徒の働き」「ローマ人への手紙」の準備を着々と進めています。この計画を実現できるように、続けてお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

お詫びと訂正（No.115 別紙 献金者のお名前）

Japanese Presbyterian Church 誤：個人→正：教会・団体 お詫びして訂正いたします。

事務所だよ

クリスマスおめでとうございます。

クリスマスツリーにろうそくの灯を飾ったのはルターであったと聞いています。今年、私たちは幾度となく、改革者たちによってもたらされた恩恵に思いを馳せてきました。人生の道を照らす「灯」である聖書を民衆に届けてくれたのも、改革者たちであったことを思い、感謝しています。

手引づくりは地味な働きです。しかし、この手引を使って聖書を学ぶ方々が、神様の語りかけに気付いて、明かりを灯す生き方ができるようになったら・・・。これは、なんとすばらしい神様との協働の働きでしょうか！宇宙から眺めた日本の夜景のように、日本中にクリスチャンたちの掲げる小さな光が輝いていくことを夢見ています。

この度、私たちの呼びかけに賛同して、たくさんの方が手引出版への思いを表してくださいました。心から感謝いたします。



聖書を読む会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル内
Tel/fax: 03-5577-4687 E-mail: sykoffice21@gmail.com
Web: http://syknet.jimdo.com 郵便振替: 00180-9-81537

No. 116

2017 年12月1日 発行



「神の国に向かって生きる 2」-賀川豊彦

聖書を読む会 理事、同盟基督教団 理事長
JEA 理事長、東京キリスト教学園 理事長
廣瀬 薫

「主は、昼は、途上の彼らを導くため雲の柱の中に、また夜は、彼らを照らすため火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。彼らが昼も夜も進んで行くためであった。昼はこの雲の柱が、夜はこの火の柱が、民の前から離れることはなかった。」（出エジプト記 13 章 21～22 節）

昨年 11 月 30 日、BS 朝日の「昭和偉人伝」で賀川豊彦が取り上げられました。そのサブタイトルには驚きました。「21 世紀の日本をグランドデザインした男」というのです。番組宣伝の文章を抜粋してみます。「1934 年アメリカで出版された『Three Trumpets Sound』という本で、…20 世紀の三大聖人と称された日本人がいました。その人の名は賀川豊彦。…大正から昭和にかけて…弱者救済を訴え、『労働組合』『生協』『農協』など、現在にまで続く日本の共助の基礎を創り上げた人物でもあります。まさに、21 世紀の日本をグランドデザインした男と言われる所以です。」

今、私たちが生きている 21 世紀の日本の重要な土台を作ったのは、賀川豊彦という一人の牧師であったと、この番組は紹介しているのです。賀川はノーベル平和賞候補に 4 回、文学賞候補に 2 回ノミネートされた世界的有名人でした。その賀川がしかし、日本国内で、特にホームグラウンドであるはずのキリスト教会内で、余り高く評価されていないのは、古屋安雄氏の言葉を

◆◆ 「聖書を読む会」の働きは、皆さまのお祈りと献金によって支えられています ◆◆

引けば「世界の常識、日本の非常識」。私自身を振り返っても、長く賀川の悪評を聞いて来たように思いますが、実際には、知れば知るほど、この人は



神の国に生きることを教えてくれる、稀有なモデルであると教えられています。

賀川は、1923年の関東大震災直後に神戸から東京に拠点を移して災害救援活動に邁進し、その数年後の1928年から約4年半に渡って「神の国運動」を中心となって担いました。その期間のデータが残っています。賀川は734日を費やし、1,859の集会を持ち、聴衆総数は約78万人。集まった決心者カードは約62,000枚。当時の年間受洗者数が約1万人増加したと言われます。ただし、賀川研究の黒田四郎氏は「その時代の教会側は、決心者を受け入れる可能性は少なかった」とコメントしています。インテリ中心の教会は、大衆に対しての敷居は高かったのです。そしてその後、日本の教会は「神の国」を語るなくなりました。日本が国家主義の時代に進み、聖書の「神の国」を語る事が政治的に許されなくなっていくのです。

賀川が関連した事業を列挙してみます。(1)教会・伝道活動(2)幼児教育(3)救済事業(食事、住宅、金融、診療、職業紹介)(4)救霊団事業、雲柱社(注)冒頭の御言葉は、賀川特愛の聖句で、団体名にもしたのです。(5)労働運動(6)社会運動(普通選挙、廃娼、禁酒)(7)農民組合(8)災害救援(9)協同組合・消費組合(10)保険・共済事業(11)平和運動(12)著作活動。社会評論家の大宅壮一は、「大衆の生活に即した新しい政治運動、社会運動、農民運動、協同組合運動など、およそ運動と名のつくものの大部分は、賀川豊彦に源を発していると言っても、決して言いすぎではない。」と評しました。このような牧師がいたことに励まされます。

日本の宣教は本当に難しいのでしょうか。教会が小さくて力不足で、ニーズは分かっているでもそれが「出来ない」というのは本当でしょうか。「神の国」のビジョンを持てば、キリスト者に何が出来るかを見せてくれたのが賀川豊彦であったと思います。私たちも、救われた喜びを頂いた後、それで終わらずに、地上で神の国を造り続けておられるイエス・キリストの招きに応じて、主と共に、仲間と共に、神の国を造る働きに参加する喜びを頂いていきましょう。大切なのは、神の国に向かって生きる方向性において、ぶれないことです。私たちの地上の生涯は尊く活かされたのだという喜びに至るのです。「神の国に向かって生きる」歩みを、主と共に、兄弟姉妹と共に定めましょう。



SYK便り

いよいよ新しい「使徒の働き」が出版されます！
今回はその内容を少しお分かちします

「使徒の働き」一はじめに一より

「福音書の最後に描かれている弟子たちの姿は、決して力強いものではありませんでした。…その弟子たちが、2カ月も経たないうちに、誰をも恐れず大胆に福音を語りはじめます。それから、わずか30年で「世界中を騒がせて来た者たち」と言われるまでに、地中海世界を福音で満たし、各地に教会を築き上げていきました。

「使徒の働き」にはそのような使徒たちの変化の理由と宣教の働き、また、指導者である使徒たちが語ったキリスト教の中心的な教え…教会が初めて直面したさまざまな問題とその解決への道筋が、生き生きと描かれています。

現代の私たちが何を信じて、どのように生き、それを伝えるのか、また、どのような教会を築いていくのか、「使徒の働き」が語る信仰と教会の原点から学びましょう。」

この手引では、全部で15のコラムが入り、時代背景やことばの意味するところを分かりやすく解説しています。そのほか、注)、脚注、巻末注なども、「使徒の働き」を立体的に理解するために役立ちます。

たとえば…

コラム 「全ての道はローマに通ず」

ローマ帝国は、世界最強と言われた軍隊を背景に、優れた司法と行政機構によって広大な地域で平和と秩序を保っていました。また、「全ての道はローマに通ず」と言われたように、ローマ市を中心とした、帝国全土に張り巡らされた緻密な石造りの街道は、ローマ軍だけでなく、物流と人の移動をかつてないほどに円滑にしました。パウロが30年という短い期間で地中海東部の広い地域を福音で満たすことができたのも、ローマ帝国が築いた街道によっていました。(後略)

2018年、新刊手引「使徒の働き」を使って聖書を学びませんか。グループの学びだけでなく、個人の学びや祈りのためにもどうぞ。